



# 2018年12月期 第3四半期 決算説明資料

---

株式会社エナリス 証券コード：6079

**CONFIDENTIAL**

本資料は営業提案を目的にエナリスが作成したものです。その正確性及び完全性に関し責任を負うものではありません。  
また本資料の権利はエナリスに属し、無断で複製または転送などを行わないようお願い致します。

## 2018年12月期 第3四半期 業績比較

	2017年 12月期 第3四半期 (前期)	2018年 12月期 第3四半期 (今期)	前期比	増減額
売上高	39,980	54,181	35.5%	14,201
売上総利益	3,010	3,030	0.7%	20
営業利益	846	422	△50.1%	△424
経常利益	738	359	△51.3%	△378
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	750	26	△96.4%	△723

(百万円)

## 2018年12月期 第3四半期 概要

- **売上高**：EAサービスの管理電力の増大及び小売電気事業者向け電力需給管理サービスの取扱電力量の増加等により前年同期に比べ14,201百万円増加し、**54,181百万円**（前年同期比35.5%増）計上
- **売上総利益**：EAサービスにおいて、第1四半期に続き当第3四半期においても厳気象の影響を受け、売上原価が増加したものの、競争力のある契約電源からの調達の増加による電力卸取引の増大等により、前年同期に比べ20百万円増加し**3,030百万円**計上
- **営業利益**：EAサービスにおける売上原価の増加が大きく影響したことにより**422百万円**計上
- **経常利益**:**359百万円**計上
- **親会社株主に帰属する四半期純利益**:  
特別損失の計上もあり**26百万円**計上

※EAサービス：エネルギーエージェントサービス

## 前年度末 貸借対照表 比較

	2017年 12月期末	2018年 12月期 第3四半期末	増減額
流動資産	18,168	22,365	+4,197
固定資産	7,725	8,644	+918
負債	22,140	26,428	+4,287
純資産	3,753	4,581	+828

(百万円)

- **流動資産**は、対前年度末より  
4,197百万円 **増加**
- **固定資産**は、対前年度末より  
918百万円 **増加**
- **負債**は、対前年度末より  
4,287百万円 **増加**
- **純資産**は、対前年度末より  
828百万円 **増加**

## 業界ハイライト

- 新電力のシェアは、2016年4月の電力小売全面自由化直後は約5%でしたが、本年7月時点では15.3%となっています。特別高圧・高圧受電分は上昇を続けており、本年7月時点では17.6%となっています。さらに、低圧分野も一環して伸び続け、10.9%となっています。（資源エネルギー庁 「2018年7月分電力需給速報」 本年10月25日公表）
- 小売電気事業者の登録数：528事業者（資源エネルギー庁 登録小売電気事業者一覧 本年10月30日現在）

## 2. 部門別売上実績

### 部門別売上実績

		2017年 12月期 第3四半期 (売上高総利益率)	2018年 12月期 第3四半期 (売上高総利益率)	前期比	増減額
エネルギー マネジ メント 事業	小売電気事業者向け 需給管理サービス	795	1,051	+32.3%	+256
	エネルギーサービス	27,431	36,587	+33.4%	+9,155
	その他	22	55	+143.7%	+32
	計	28,249 (6.9%)	37,694 (4.8%)	+33.4%	+9,444
パワー マーケ ティング 事業	電力卸取引	11,670	16,140	+38.3%	+4,470
	電源開発	60	346	+470.7%	+285
	計	11,730 (9.0%)	16,487 (7.4%)	+40.5%	+4,756
合 計		39,980	54,181	+35.5%	+14,201

※エネルギーマネジメント事業内のその他にはHEMS・MEMS等を含みます。

(百万円)

### 3. 顧客別サービス区分による売上実績

#### 顧客別サービス区分による売上実績

	2017年 12月期 第3四半期 (売上高総利益率)	2018年 12月期 第3四半期 (売上高総利益率)	前期比	増減額
法人需要家向けサービス (エネルギーエージェントサービス)	27,454 (4.8%)	36,643 (2.4%)	+33.5%	+9,188
新電力事業者向け サービス	12,465 (13.2%)	17,192 (12.1%)	+37.9%	+4,726
その他	60 (57.6%)	346 (25.4%)	+470.7%	+285
合 計	39,980	54,181	+35.5%	+14,201

(百万円)

- ※法人需要家向けサービスは、エネルギーマネジメント事業の“エネルギーサービス”と“その他”です。
- ※新電力事業者向けサービスは、エネルギーマネジメント事業の“小売電気事業者向け需給管理サービス”と  
パワーマーケティング事業の“電力卸取引”です。
- ※その他は、パワーマーケティング事業の“電源開発”です。

## 4.エネルギーエージェントサービスの進捗

エネルギーエージェントサービスにおける管理電力

(単位：kW キロワット)



## 5.連結業績予想の修正について

2018年12月期 通期連結業績予想（本年2月7日公表）

（単位：百万円）

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
63,000	1,200	1,100	850	17円60銭



2018年12月期 通期連結業績予想の修正（本年11月6日公表）

（単位：百万円）

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
77,900	600	500	150	3円10銭

### <修正理由>

#### ■ 売上高

パワーマーケティング事業では、安価な契約電源の確保により、新電力事業者のお客様の需要の高まりから電力卸取引の売上が予想を上回る見込みとなりました。また、エネルギーマネジメント事業でも同様に、電力市場取引の売上が拡大していることからエネルギーエージェントサービスの売上が予想を上回る見込みとなりました。

#### ■ 営業利益、経常利益

電力需要の変動等による調達電力の価格高騰（季節性の変動要因）が、厳冬の影響で当第1四半期に発生したことに加え、猛暑の影響で当第3四半期にも発生し、これらが当社の想定をはるかに超えていたことから電力調達コストの大幅な増大となったため、売上原価の大幅な上昇となりました。このため下方修正いたします。

#### ■ 親会社株主に帰属する当期純利益

営業利益、経常利益の減少の影響に加え、当第3四半期での特別損失計上等もあり、下方修正いたします。